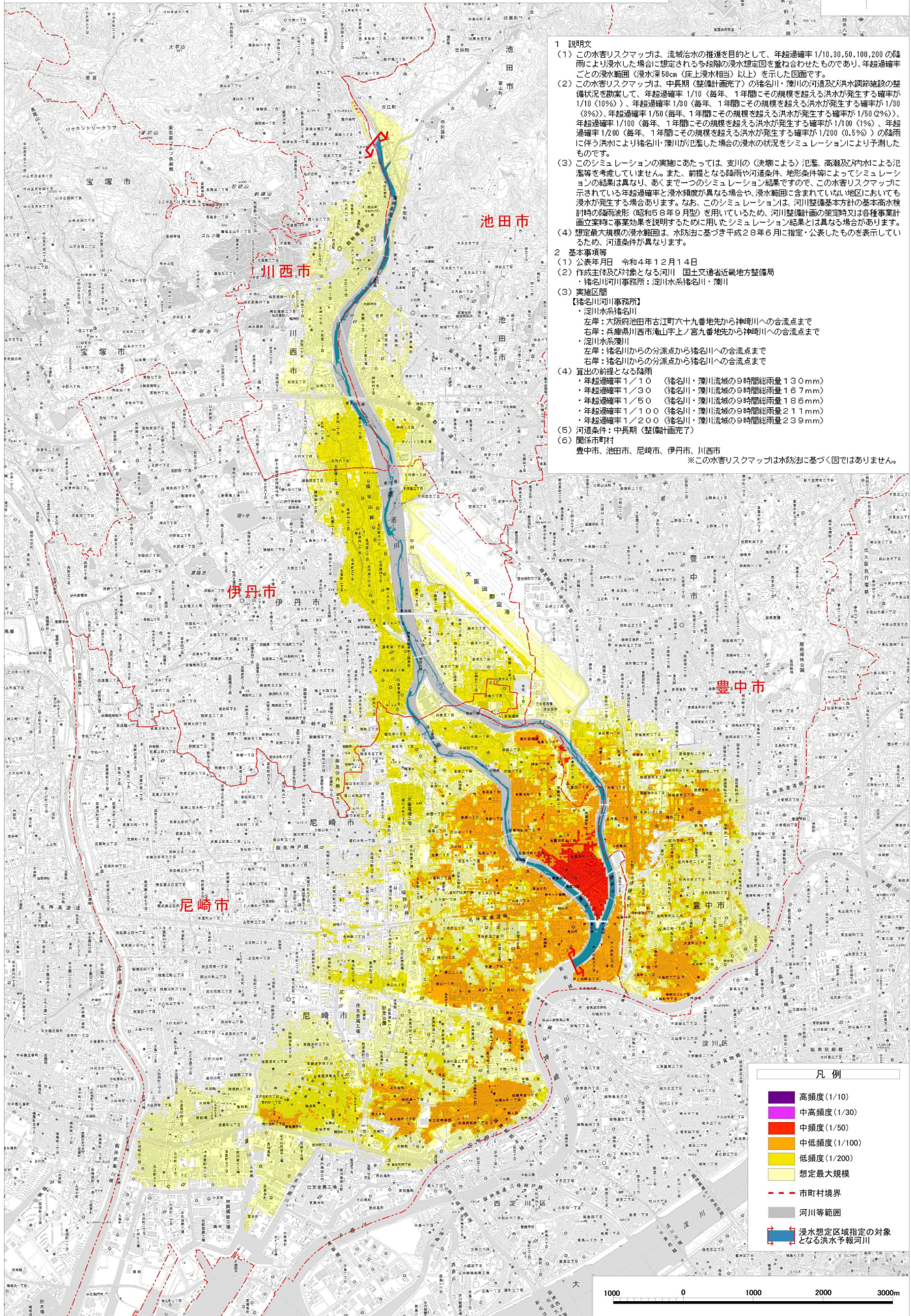


# 淀川水系猪名川・藻川 国管理河川からの氾濫を想定した水害リスクマップ 【中長期河道】

浸水深50cm（床上浸水相当）以上の浸水が想定される範囲を表示



- 1 説明文
- (1) この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、年超過確率1/10, 30, 50, 100, 200の降雨により浸水した場合に想定される各程度の浸水想定区域を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲（浸水深50cm（床上浸水相当）以上）を示した図面です。
  - (2) この水害リスクマップは、中長期（整備計画完了）の猪名川・藻川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/10（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10（10%））、年超過確率1/30（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30（3%））、年超過確率1/50（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50（2%））、年超過確率1/100（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100（1%））、年超過確率1/200（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/200（0.5%））の降雨に伴う洪水により猪名川・藻川が氾濫した場合の浸水状況をシミュレーションにより予測したものです。
  - (3) このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は真なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形状（昭和58年9月型）を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。
  - (4) 想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき平成28年6月に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。
- 2 基本事項
- (1) 公表年月日 令和4年12月14日
  - (2) 作成主体及び対象となる河川 国土交通省近畿地方整備局  
猪名川河川事務所：淀川水系猪名川・藻川
  - (3) 実施区間  
【猪名川河川事務所】  
・淀川水系猪名川  
左岸：大阪府池田市古江町六十九番地先から神崎川への合流点まで  
右岸：兵庫県川西市滝山字上ノ宮九番地先から神崎川への合流点まで  
・淀川水系藻川  
左岸：猪名川からの分派点から猪名川への合流点まで  
右岸：猪名川からの分派点から猪名川への合流点まで
  - (4) 算出の前提となる降雨  
・年超過確率1/10（猪名川・藻川流域の9時間総雨量130mm）  
・年超過確率1/30（猪名川・藻川流域の9時間総雨量167mm）  
・年超過確率1/50（猪名川・藻川流域の9時間総雨量186mm）  
・年超過確率1/100（猪名川・藻川流域の9時間総雨量211mm）  
・年超過確率1/200（猪名川・藻川流域の9時間総雨量239mm）
  - (5) 河道条件：中長期（整備計画完了）
  - (6) 関係市町村  
豊中市、池田市、尼崎市、伊丹市、川西市  
※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。

凡例

- 高頻度 (1/10)
- 中高頻度 (1/30)
- 中頻度 (1/50)
- 中低頻度 (1/100)
- 低頻度 (1/200)
- 想定最大規模
- 市町村境界
- 河川等範囲
- 浸水想定区域指定の対象となる洪水争報河川

